

【事務事業調査】

事務事業名	元気ネット整備費(繰越事業)			予算科目コード	会計-款-項-目-事業
					001-020108-005-01-03-0
担当部課	総務企画部 秘書広報課	担当 リーダー	情報管理 小池 哲也	事業の分類	既存事業

事務事業の概要

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か?	どのような成果が現れます(現れました)か?
計画	本庁及び出先機関を無線で結ぶネットワークシステム(元気ネット)のうち、一部を有線(ビジネスイーサ)に切り替えます。 元気ネットは平成13年8月から稼働し、約7年が経過しました。機器の耐用年数や通信速度の問題によりネットワーク構成を見直し、セキュリティを強化することを目的とします。	通信速度が無線では最大11Mbpsですが、有線(光)に切り替えることにより、最大100Mbpsになり、行政サービスの向上に繋がります。 また、元気ネットの回線を利用し、基幹系サーバをハウジングすることが可能になり、住民情報が安全に守られます。 ハウジング・・・地震災害等の対策・個人情報保護対策・障害発生時のシステム復旧対策として基幹系サーバを耐震設備、安定した電源設備の整った業者の施設に設置する
実績	本庁及び出先機関の7か所(改善センター・上下水道事務所・図書館3館・TISC)を結ぶネットワークシステム(元気ネット)を、有線(ビジネスイーサ)に切り替えました。機器の耐用年数や通信速度の問題によりネットワーク構成を見直したことにより、セキュリティの強化につながりました。 平成20年5月に基幹系サーバ11台をハウジングし、地震災害等の対策・個人情報保護対策・障害発生時のシステム復旧対策が強化されました。	本庁と出先機関(改善センター・上下水道事務所・図書館3館)を有線で結んだことにより、天候や電波による通信障害が無くなり、事務の効率化・行政サービスの向上に繋がりました。 基幹系サーバを専門の施設に預けることにより、本庁に災害が発生した場合にも安全にデータ(情報)を守ることができ、セキュリティ面も強化されました。また、システム委託業者にサーバを預けていることから、トラブル発生時においても復旧作業がスムーズに行えるようになりました。

活動指標

指標	目標値	達成値	特記事項
ビジネスイーサ接続施設数	7か所	7か所	本庁・改善センター・上下水道事務所・図書館3館・TISC
ハウジングサーバ数	11台	11台	

事業費(計画)

細 節	金 額
1 委託料	2,299,000
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
	2,299,000

事業費(当初予算)

細 節	金 額
1 委託料	2,299,000
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
	2,299,000

事業費(実績)

細 節	金 額	特記事項
1 委託料	2,298,450	
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
	2,298,450	

事業経費

		計 画	実 績	特記事項
予 算	当初予算額		2,299,000	
	補正予算額		0	
	流用額		0	
	予算現額		2,299,000	
決 算	決算額		2,298,450	委託料2,299,000円をH19年度から繰越しました。
財 源	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	受益者負担金			
	その他の特定財源			
	計	0	0	
	差引(一般財源)	2,299,000	2,298,450	